

令和7年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立高野小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立高野小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動を通して外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（87.7%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成23年4月

平成30年4月 変更

平成31年4月 変更

令和2年4月 変更

令和6年4月 継続

令和7年4月 継続

(5) 取組の期間

令和9年3月31日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	62.5
楽しい	25.0
あまり楽しくない	8.3
楽しくない	4.2

- ② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	79.2
楽しい	16.7
あまり楽しくない	0.0
楽しくない	4.2

- ③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	79.2
話せるようになりたい	4.2
あまり話せるようになりたくない	16.7
話せるようになりたくない	0.0

- ④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	54.2
知りたい	29.2
あまり知りたくない	16.7
知りたくない	0.0

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	63.2
楽しい	36.8
あまり楽しくない	0.0
楽しくない	0.0

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	52.6
楽しい	42.1
あまり楽しくない	5.3
楽しくない	0.0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	36.8
話せるようになりたい	63.2
あまり話せるようになりたくない	0.0
話せるようになりたくない	0.0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	36.8
知りたい	42.1
あまり知りたくない	10.5
知りたくない	10.5

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	77.3
よい	22.7
あまりよくない	0.0
よくない	0.0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	22.7
楽しみにしている	55.7
あまり楽しみにしていない	17.0
楽しみにしていない	4.5

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	23.9
増えていると思う	60.2
あまり増えていると思わない	13.6
思わない	2.3

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	32.8
(英語を) 聞く力	32.8
(英語を) 話す力	14.2
(英語を) 読む力	4.5
(英語を) 書く力	1.5
力が身に付いていると思わない	14.2

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・タブレット等 ICT の活用
- ・楽しく学べる時間にしてほしい
- ・中学校につながる学び (単語、基礎的な文法)
- ・ネイティブな講師による、外国人の方々と本当の意味でコミュニケーションがしっかりとれる語学力が学べる授業
- ・頻度や時間を増やしてほしい
- ・ALT と遊ぼうを増やす
- ・フォニックスの導入
- ・英語の絵本を借りたり音読したりする
- ・中学校の英語教育との無理のない接続

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	40.0
よい	60.0
あまりよくない	0.0
よくない	0.0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	20.0
楽しみにしている	80.0
あまり楽しみにしていない	0.0
楽しみにしていない	0.0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	20.0
増えていると思う	80.0
あまり増えていると思わない	0.0
思わない	0.0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	44.4
(英語を) 聞く力	33.3
(英語を) 話す力	0.0
(英語を) 読む力	22.2
(英語を) 書く力	0.0
力が身に付いていると思わない	0.0

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・今後も継続を希望
- ・他校での具体的な取り組みや指導方法などの共有（特に1、2年生）

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

低学年から外国語に親しむことで、自ら学ぼうとする意欲や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度に大きな成果が見られる。

英語教育の早期導入と継続的な取組により、高学年における外部試験等のスコア向上が確認されている。「英検 Support Program ESG」において、「文の意味が分かる」項目の平均点が前年度より4ポイント上昇した。これは低学年からの活動の充実や、市独自のオンライン英会話の効果であると考えられる。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

1年生から継続してALTと学習することで、英語でのやり取りに対する抵抗感がなくなり、「伝えたい」という意欲が高まっている。

表現力の育成: 早期からの学習により英語での会話に親しみ、表現力が段階的に育成されている。

実践的な活用: 第5学年では松ヶ丘小学校との動画交流を通じて、それまでに学んだ英語表現を自ら進んで活用し、自分の考えを伝えようとする意欲向上の成果が見られた。

日常的な挨拶: 普段の生活の中でも、ALTに対して自然に挨拶や簡単な会話ができるようになってきている。

(3) 今後の課題

英会話を難しいと感じたり、苦手意識をもったりしている児童への個別のフォローが重要な課題である。児童が「なぜ外国語を学ぶのか」という意義を実感できるような授業デザインの工夫が求められる。

5 授業の様子



ALT とのハロウィーンの様子 (2 年生)



**英語を用いたお店を開いた様子
(1 年生と5 年生)**